

世界遺産への登録をめざす 武家の古都・鎌倉ニュース

第5号 平成19年(2007年)10月発行
発行 鎌倉世界遺産登録推進協議会
編集 広報部会 編集人 内海恒雄
事務局 〒248-8686 鎌倉市御成町18-10
鎌倉市世界遺産登録推進担当
Tel.0467-61-3848 Fax.0467-23-1085
E-mail: sekaiisan@city.kamakura.kanagawa.jp

「めざせ、世界遺産登録！」神奈川県、横浜市、 鎌倉市、逗子市の4県市による推進会議を開催



7月27日(金)、鎌倉市役所で「神奈川県・横浜市・鎌倉市・逗子市世界遺産登録推進会議」が開催されました。松沢成文神奈川県知事、中田宏横浜市長、平井竜一逗子市長、石渡徳一鎌倉市長と4自治体の教育長が集まって、「武家の古都・鎌倉」の世界遺産登録に向けて協力連携して取り組むため「武家の古都・鎌倉の世界遺産登録推進に関する協定」を締結しました。横浜市域にある「称名寺」や「朝夷奈切通」、さらに逗子市域にある「名越切通」「和賀江嶋」は欠くことができない重要な候補遺産となるものです。平成22年の登録をめざして、今後の緊密な協力体制が期待されます。

写真／(左から)平井市長、石渡市長、松沢県知事、中田市長

松沢県知事と推進協議会関係者が懇談

7月23日(月)、移動知事室の一環として、松沢成文神奈川県知事が鎌倉市役所を訪れ、推進協議会副会長の石渡徳一市長、理事の熊代徳彦教育委員会教育長、奴田不二夫登録推進事業部会長、内海恒雄広報部会長などと懇談しました。

松沢県知事と石渡市長のご挨拶の後、懇談に入り、推進協議会側から、会ができるまでの経過や、事業内容として写真・美術コンクール、シンボルマークの公募、「武家の古都・鎌倉」塾の開催、会報や「武家の古都・鎌倉」MAPの発行等について報告し、今後予定している事業計画についての説明を行いました。

そして「武家の古都・鎌倉」のコンセプトは、鎌倉時代の鎌倉の範囲として、鎌倉市だけでなく、逗子市や横浜市の一部を含んでおり、登録候補地だけでなく、その周辺のバッファゾーンも含めて、鎌倉市・逗子市における古都保存法の拡大や、特

別緑地の保全等が必要であることをお話ししました。

また横浜や鎌倉、逗子は世界遺産登録を契機に国際観光都市としてさらに発展する必要があること、登録候補地とその周辺の整備は緊急課題であること、世界から訪れるたくさんの人々や後世の人々にも誇れる古都鎌倉のまちづくりの原点として、世界遺産登録を考えたいということも話し合われました。

さらに、世界遺産登録は鎌倉市だけのことなく、横浜市、逗子市と神奈川県の連携が不可欠であり、神奈川県民全体にますますご理解とご協力をいただけるよう、県知事にお願いしました。

これに対して県知事は、4県市による推進会議での締結により、さらに緊密な連携が図れるだろうという見通しを述べられ、今後もより一層登録推進活動を進めていくことが確認されました。

鎌倉世界遺産登録推進協議会ホームページ完成！
<http://www.shonan-it.org/KWH-kyogikai/>
古都鎌倉の世界遺産登録についての最新情報や、会報バックナンバー、世界遺産MAPなど、
楽しい情報を満載しています。ぜひ、クリックしてみてくださいネ！